



公立高校入学者選抜検査終了

佐賀県公立高校の選抜検査が、3月6日（火）～7日（水）、長崎県公立高校の選抜検査が、3月7日（水）～8日（木）に実施され、無事終了しました。3年生にとっては、緊張と不安から開放された安堵感と喜びで一杯ではないでしょうか。本当にお疲れ様でした。今は、「人事を尽くして天命を待つ」という心境だと思います。3年生全員が自分の進路を実現できることを心から祈っています。



これからは、学校全体が卒業式に向けて動いていきます。卒業式は学校行事の中でも最大の行事です。3年生の皆さんは、自分たちを支えてくれた全ての方に感謝の気持ちを持って、練習、そして本番に臨んでください。1,2年生の皆さんは、お世話になった3年生のために素晴らしい卒業式になるよう、準備を行っていきましょう。

選抜試験出題分析

本年度の長崎県公立高等学校選抜検査の分析が新聞に掲載されていました。その一部を紹介します。1,2年生の皆さんは今後の学習に向けての参考にしてください。（長崎新聞より抜粋）

【国語】

- ・例年通り大問4題の構成（小説、古文、説明的文章、資料活用問題）
- ・全問を通して、基礎的な事項を押さえながら「思考、判断、表現」の力が問われている。このような力を身に付けるためには、日頃から様々な場面で、目的や相手を意識して表現する機会を多く持つことが必要である。

【英語】

- ・A問題（標準的な難易度）とB問題（やや高い難易度）のパターンで、4領域がバランスよく出題されている。昨年に比べると大問題が2問減。A問題の難易度が高くなっている。

- ・基礎的・基本的な知識を活用し、話し手や書き手の意向や文脈を読み取ったり、自分の考えを表現したりする総合的な力が問われた。

【理科】

- ・基礎的な学習内容が身につけていれば十分に対応できる。
- ・単に語句を覚えるだけでなく教科書の内容・図・グラフなどをしっかりと読むこと、実験・観察には目的をしっかりと把握し、検証方法を理解した上で、結果を考察することを心がけておく。

【数学】

- ・例年通り大問6題の構成
- ・全体を通して、基礎・基本の学習を大事にした上で、事象を数理的に考察し、多面的・総合的に解決する力を高めることが求められる。

【社会】

- ・例年通り大問6題の構成（地理・歴史・公民の3分野ずつ偏りなく出題）
- ・日頃の授業で習得した知識や技能を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら課題を追求したり解決したりする力を身につけることが求められている。新聞やニュースで社会の動きを把握し、自分自身の課題として自分なりの考えを持つことが大切となる。

寄付をいただきました

三川内中学校の後輩のために役立ててくださいということで、本校第35回卒業生の皆様から、寄付金をいただきました。検討した結果、教育活動展示用テレビと簡易テント2張を購入させていただきました。誠にありがとうございました。大切にさせていただきます。

